

経験者選考採用職員(技官)の紹介

課長補佐級

総合通信基盤局 電気通信事業部
電気通信技術システム課
課長補佐

生天目 翔
Nabatame Sho

(令和3年度採用)



Career Step



Q. 民間企業から総務省を志望した理由は？

A. 日本のICT政策の舵取りに自ら関わり、貢献したかったから。

私は、高校でアマチュア無線を始め、大学では通信工学や放送技術などを研究し、その後就職した民間企業では通信技術に関する研究開発に従事していました。もともと通信全般に興味がある中で、この分野の新しい技術やそれら技術を踏まえた制度や政策が、日本という国でどのように舵取りされているかを知り、より良くしていきたいと考え、総務省を志望しました。

Q. 現在、総務省でどんな仕事をしていますか？

現在、総務省が委託する研究開発の推進、ITU-Tなどの国際標準化対応、非常時における事業者間ローミングの推進を担当しています。最新の技術の動向をキャッチアップしながら、担当している研究開発のボトルネックとなっている課題を確認したり、最新の技術についてステークホルダーの意見を聞いたり、今後の進め方の調整やとりまとめを行っています。



- ① 総務省が推進する非常時における事業者間ローミングについて、上司と相談しながら進め方の確認を行っています。仕事を進める上では、報連相を徹底しています。
- ② 民間事業者とオンラインでミーティングを行い、課題の確認や進め方の議論を行っています。

SCHEDULE

- 09:30 出勤
- 10:00 メールチェック
標準化に関する打ち合わせ
- 12:00 昼休み
- 13:00 資料整理
- 14:00 事業者との打ち合わせ
- 16:00 上司と課題についての議論
- 17:00 他省庁との打ち合わせ

Message



<総務省を志望する皆さんへ>

民間企業での経験は、専門知識や業務の進め方など、総務省においても幅広い方面に活かすことができます。国家公務員・総務省ならではのものとして、制度や国会に関係する業務などもあります。それらは入省後にOJTで身に着けることができます。
ぜひ様々なバックグラウンドをお持ちの方に総務省の門戸を叩いて頂き、一緒に新しいICT政策の舵取りに関わり、より良い日本のために邁進いただけることを期待しております。